

## GIF-2250

(調整後は-20°C)

- ・ DMSO 10  $\mu$ Lに溶解 (3mMになる)
- ・ 試料により $\sim$ 3  $\mu$ Mで添加
- ・ 5 $\sim$ 10分室温
- ・ 観察

\* 可能であれば、WAKO社の無酸素DMSOを利用

## (顕微鏡観察：細胞外小胞)

- ・ 2 $\sim$ 10  $\mu$ Lをカバーガラスへ滴下
- ・ X1000で観察 (B-励起、FITC/GFP)

\* 上下でカバーガラスで覆うこともよい

## (プレートリーダー)

- ・ 試料をpH9のBufferで1/2希釈
- ・ 測定 (B-励起、FITC/GFP)
- ・ Negative controlからの引き算

\* pH標準液のホウ酸Bufferでよい

\* ガラスボトムplateが高感度

## (顕微鏡観察：細胞内エンドソーム観察)

- ・ 培地は $\sim$ 1%血清の培地が好ましい。
- ・ GIF-2250 final 0.3 $\sim$ 3  $\mu$ M
- ・  $\sim$ X1000 $\sim$ で観察 (B-励起、FITC/GFP)

\* 3%血清存在化でも可